

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県
本事業の担当部局名 あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--------------------|-----------|-----|------------------------|-----------|--|
| 事業メニュー | 結婚支援コンシェルジュ事業 | | | | | | | |
| 区分 | 結婚支援コンシェルジュ事業 | | | | | | | |
| 関連事業メニュー | 2.1 結婚支援コンシェルジュ事業 | | | | | | | |
| 個別事業名 | あきた出会い・結婚ネットワーク推進事業 | | | | | 新規/継続 (一般財源での実施も含む) | 継続 | |
| 実施期間 | 令和7年4月1日 | | ～ | 令和8年3月31日 | | 事業開始年度 | 令和5年度 | |
| 総事業費(A)(円) | 4,239,888 | | 寄付金その他の収入予定額(B)(円) | 0 | | 差引額(A-B)(円) | 4,239,888 | |
| 対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額 | 3,711,443 | | | | | | | |
| 費用内訳(円) | 区分 | 諸謝金 | 賃金 | 報償費 | 旅費 | 需用費 | 役務費 | |
| | 総事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 対象経費支出予定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 対象外経費支出予定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 区分 | 委託料 | 使用料及び賃借料 | 備品購入費 | 負担金 | 補助金 | 計 | |
| | 総事業費 | 4,239,888 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,239,888 | |
| | 対象経費支出予定額 | 3,711,443 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,711,443 | |
| | 対象外経費支出予定額 | 528,445 | 0 | 0 | 0 | 0 | 528,445 | |
| | ○ | ※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。 | | | | | | |
| | 自治体における少子化対策の全体像及びその本個別事業の位置付け | <p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 秋田県は、若年層の県外流出による社会減と、婚姻件数と出生数の減少による自然減により人口減少に歯止めがかからない状況である。 県人口の自然減抑制のため、若年層に向けたライフプランを学び考える機会の充実や地域全体で結婚・子育てをする機運の醸成のほか、あきた結婚支援センターを本県の結婚支援の中心に位置づけ、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の充実を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 県政運営指針「新秋田元気創造プラン(2022～2025年度)」において、目指す姿(2)結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現に位置づけられており、その達成に向けた取組として、結婚サポーター等による出会い・結婚を支援する地域活動を促進していくこととしている。本個別事業は、その一環として結婚サポーターの資質の向上を目指し、ネットワークづくりを行うものである。</p> | | | | | | |
| 番号 | 項目 | 内容 | | | | | | |
| 1 | 【基本事項】 ①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考え方 | ①一般社団法人あきた結婚支援センター ②正規職員(①の職員として) ③1名配置(現人員体制に純増で配置) ④県内全域を活動範囲として1名を配置する。 | | | | | | |
| 2 | 【活動内容1】 管内市区町村、企業、地域団体等への訪問および現状把握 | (1)県内25市町村、企業、結婚サポーター等を訪問し、結婚支援に関する取組状況や課題についての聞き取りを行う。 | | | | | | |
| 3 | 【活動内容2】 管内市区町村等が実施するイベント、セミナー、広報への助言・立会等による協力 | (2)市町村、企業、結婚サポーター等が実施するイベントや結婚支援に関する取組について、課題や悩みに応じ、把握している他団体の事例等を踏まえた助言や県へのフィードバックを通じて解決に向けた協力を行う。 | | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 個別事業の内容 | 4 | 【活動内容3】 結婚支援業務未実施管内市区町村への働きかけ | (3) 地域少子化対策重点推進交付金の継続的な活用に加え、地域結婚支援重点推進事業未実施市町村に対する事例共有等による働きかけを行う。 |
| | 5 | 【活動内容4】 関係先(管内市区町村、管内結婚サポートセンター、企業等)との情報共有 | (4) ・市町村や企業、結婚サポーター等がそれぞれ実施している結婚支援に関する好事例等について、団体間を超えた情報共有を行う。 ・あきた結婚支援センター会員団体である企業を中心に、イベントやセミナー等の従業員向け周知依頼や会場提供といった連携体制を構築するため、市町村等と企業のネットワークを強化する。 |
| | 6 | 【活動内容5】 その他、各市区町村の結婚支援を技術面・情報面から支援するために必要な業務 | (5) ・子ども家庭庁が実施する結婚支援コンシェルジュ会議への参加、情報提供等の協力 ・市町村や当該市町村で活動する結婚サポーターや応援隊等と連絡調整を行うことにより、地域単位の小規模かつより密接な結婚支援に関するネットワークを構築し、地域ごとに結婚支援に関する情報交換や課題等の現状把握を行う。 ・地域のニーズに応じて自治体間を繋ぐほか、自治体と結婚サポーターや応援隊を繋いだりするなどして、結婚支援事業を広域的に展開するため、具体的な検討をスタートさせる。 |
| <p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク推進員による個別訪問や地域単位で結婚支援関係者が集まり、意見交換等を行う会議の開催により、結婚支援に悩みを抱える団体を相談先へ繋ぐネットワークとしての機能は確立した。 ・一方、市町村や結婚サポーターと「企業」との連携は確立できておらず、従業員への出会いイベント等の周知や出会いイベントに係る会場提供など、企業ごとに対応可能な範囲で市町村等と連携できるよう、意見交換等を行っていく。 | | | |

| | | | | | |
|--|---|--|---------|--------------|----------------|
| 少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通 | KPI項目 | | 単位 | 目標値(時点) | 現状値(時点) |
| | 合計特殊出生率 | | | 1.44 (R7年) | 1.10 (R5年) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 参考指標 ※全事業共通 | 項目 | | 単位 | 直近の実績値(時点) | |
| | 合計特殊出生率 | | | 1.10 (R5年) | |
| | 婚姻件数 | | 件 | 2,302 (R5年) | |
| | 婚姻率 | | | 2.5 (R5年) | |
| 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 | KPI項目 | | 単位 | 目標値(時点) | 現状値(時点) |
| | 番号 | 項目 | | | |
| | (アウトプット) | | | | |
| | ① | 対面・オンラインによる訪問市区町村数/管内市区町村数 | % | 100 (R7) | 100 (R6.11.30) |
| | ② | 対面・オンラインによる訪問数(企業、団体等) | 件 | 95 (R7) | 98 (R6.11.30) |
| | ③ | | | | |
| | ④ | | | | |
| | ⑤ | | | | |
| | (アウトカム) | | | | |
| | ① | 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) | % | ---- | ---- |
| | ② | 希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。) | % | ---- | ---- |
| | ③ | 結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。) | % | ---- | ---- |
| | ④ | 市区町村職員のコンシェルジュ事業に対する満足度 | % | 80 (R7) | 52 (R6.3.31) |
| ⑤ | 地域少子化対策重点推進交付金における地域少子化対策重点推進事業を活用(令和8年度の活用見込み含む)して結婚支援に取り組む市区町村数/管内市区町村数 | % | 80 (R7) | 12 (R6.3.31) | |
| ⑥ | | | | | |
| ⑦ | | | | | |
| ⑧ | | | | | |